



川棚げんきだより

長崎県立川棚特別支援学校

令和4年3月1日発行

「コロナ禍の挑戦 ～スローガンの実現を目指して～」

令和3年度の締めくくりの時期を迎え今年度を振り返ったとき、新型コロナウイルス感染症の感染予防を常に考え続けた1年間だったことを実感します。ここではコロナ禍において、私が4月に掲げたスローガンの実現を目指し、本校の関係者全員で挑んできた活動の一端を、皆様方と共有したいと思います。

○児童生徒が通ってよかったと思えるような学校づくり

運動会、川棚げんきまつり、修学旅行などの行事に加え「ペルトトラック」や劇団風の子九州の劇を催すことができ、よき思い出につながったのではないかと思います。また、小学部の児童が改修された中庭の遊具でダイナミックに体を動かす姿や、中学部の生徒が作業学習の中で自分のできることを生かし役割を果たして自己有能感を高めている姿や、高等部の生徒が生徒会を中心として更に学校をよりよくしていく決意表明をし、学校づくりに参画する意識を高めている姿などに触れたときに通ってよかったと感じてくれていることを期待します。

○職員が勤めてよかったと思えるような学校づくり

日々の指導場面の中で、対応が難しい状況が生じた場合でも、職員同士で声を掛け合い、対応の仕方をチームで話し合い、特定の職員が孤立しないように配慮しながらよりよい方法を模索することに、職員全員で努めてきました。これからも、このような姿勢を続けていきたいと思っています。

○地域の皆さんに本校が、この地域にあってよかったと感じていただけるような学校づくり

地域の皆さんにこのように感じていただいているのではないかと期待する取組としては、児童生徒会を中心にSDGsの取組の一環でペットボトルのキャップを多数集めて関係事業所へ届けたことや、中学部が作成したエコバックを地域の皆さんに配布したこと、高等部が川棚町の片島竹灯籠祭に参画し幻想的な空間を作り上げたことなどが挙げられます。

最後に皆様への感謝を申し上げますと共に、卒業生の未来が幸多からんことを心からお祈りし、今年度の結びといたします。

校長 松田 竜司



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

川棚特別支援学校での思い出は、皆さんの心の中でどのように残っていますか？優しく見守って下さった家族の方、先生方、地域の温かい方々に支えられ、色々な経験や体験ができましたね。皆さん一人一人は、小学部、中学部、高等部での学校生活を立派に終え、新たな環境に踏み出すこととなります。たくさんの友達と勉強し、遊び、皆さんは心も体も大きくしっかりと成長しました。

一人一人が頑張ってきた自分に誇りをもち、胸を張って巣立って行ってください。そして、これからも伸び伸びと歩いて行ってほしいと思います。

今年度も新型コロナウイルス感染症により、制限のある中でのPTA活動となりましたが、保護者の皆様には、様々な形でPTA活動に御協力いただき、ありがとうございました。先生方におかれましても、状況に応じ、様々な変更や対策を必要とされることが多い中、子供たちのために、ご尽力下さり、本当に感謝しております。ありがとうございました。

私は、我が子も含め、特別支援学校のお子様方に本当の幸せを教えてもらい、日々学ばせてもらっています。お互いの個性を尊重し、理解し、多様な在り方を認め合える、穏やかな世の中になることを心から願い、皆様それぞれの幸せと健康をお祈り申し上げます。

PTA会長 黒崎 朱美



小学部6年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

6年間ずっと一緒だった4人。いつも元気で、とても明るいクラスでしたね。笑いあり、涙ありの学校生活も、4人で力を合わせて乗り越え、日々成長していく姿はキラキラと輝いていました。春からは中学生。新しい友達をたくさん作り、笑顔いっぱいの中学校生活を送ってください。そして、これからも新しいことにどんどんチャレンジして、得意なことをたくさん増やして欲しいと思います。

笑顔で頑張れ！！応援しています。



小学部6年担任

中村 貴子 櫻井 隆雄

中学部3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。振り返れば中学部での3年間は、あっという間だったのではないのでしょうか。この3年間で、心も体も大きく成長していることをうれしく思います。

卒業し、春から高等部へ進学する皆さん、これからもたくさんのことに「挑戦」してください。失敗を恐れず「挑戦」して、多くの経験を積み重ねてください。ときには苦しいこともあるかもしれませんが、勇気を出して「挑戦」したことは決して無駄にはなりません。自分でできることが、少しずつ増えていきますよ。できることが増えるということは、将来の可能性も大きく膨らむということです。さあ、一步踏み出して「挑戦」してみてください。

皆さんの未来が輝かしいものになりますように。



中学部3年担任

川尻 拓寛 木下 久美子
滝口 信之 三根 真希子

高等部3年1組の皆さん、川棚特別支援学校での学校生活はどうだったでしょうか？たくさんの友達や先生と出会い、たくさんの素敵な思い出ができたのではないのでしょうか。学校で勉強してきたことや経験したことはこれからの社会生活で必ず役に立ちます！困ったときやつらくなったときは学校生活で学んだことを思い出したり、周りの人に頼ったりして乗り越えてください。きっと皆さんならどんなに高い壁も乗り越えることができると思います。皆さんとお別れするのはとても寂しいですが、これからも笑顔と感謝を忘れずに頑張ってください。『一生勉強！一生青春！』自分の道をあきらめずにつき進んでいってください。心から応援しています！！



高等部3年1組担任

豊田 真
宮崎 峻伍
假屋 依子

高等部3年2組の皆さん、御卒業おめでとうございます。皆さんが社会人になっても大いに活躍できるように、二つの言葉を送ります。

一つ目は「継続は力なり」です。今まで話をしてきた「最後まであきらめない」ことの大切さは、社会でも同じです。きついことがあっても、最後まで頑張ってください。余暇の時間を楽しむこともぜひ続けてください。きっと、皆さんの力になります。

二つ目は「感謝」です。皆さんの近くには必ず、一緒に楽しみ、悩みを聞き、支えてくれる仲間や家族、上司がいます。その人へのありがたいの気持ちを忘れないでください。きっと、素晴らしい社会人生活になります。

皆さんの活躍を、期待しています。



高等部3年2組担任

宮本 隆洋
立野 京子
石塚 大夢

編集後記 今年度のげんきだよりも最終号となりました。げんきだよりを通して学校での子供たちの様々な様子をお伝えしました。来年度も行事など、学校での子供たちの様子をお伝えできたらと思います。1年間ありがとうございました。